

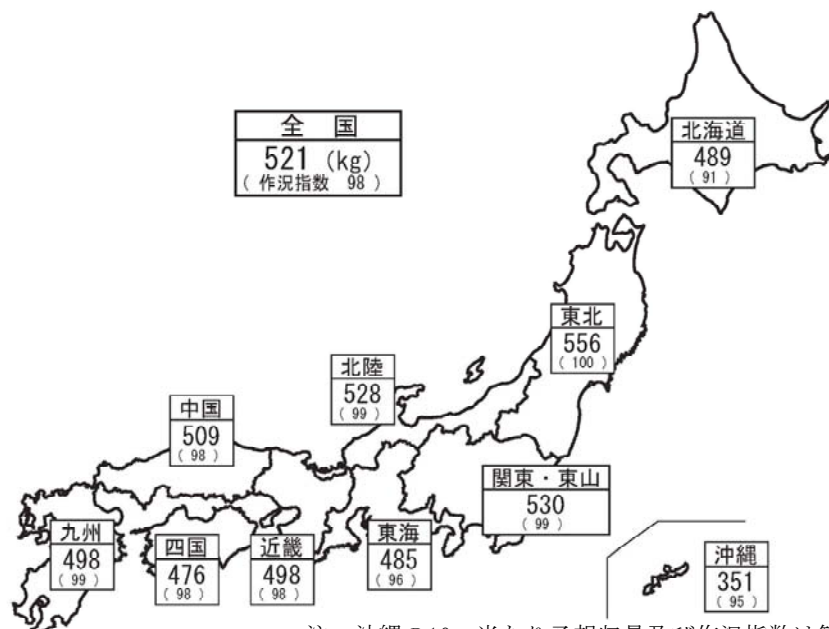
## 平成21年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況

－ 水稻の10 a 当たり予想収量は521kg(作況指数98)の見込み －

### 【調査結果の概要】

- 1 平成21年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は163万7,000haで、前年産並みが見込まれる。  
うち、主食用作付見込面積は、159万2,000haが見込まれる。
- 2 9月15日現在における水稻の作柄は、北海道では、7月中・下旬の低温等の影響により不稔もみの発生が見られ、都府県では、7月から8月上旬の日照不足等の影響を受けたことから、8月中旬以降おおむね日照が確保されているものの、全国の10 a 当たり予想収量は521kg（作況指数 98）が見込まれる。
- 3 主食用作付見込面積に10 a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は829万2,000 tが見込まれる。

図 全国農業地域別10 a 当たり予想収量（9月15日現在）



注：沖縄の10 a 当たり予想収量及び作況指数は第一期稲である。

- 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む）から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた面積（見込み）である。
- 作況指数とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- この調査は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行ったものである。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【 [http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/suitou\\_090915/suitou\\_090915.xls](http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/suitou_090915/suitou_090915.xls) 】

## 【関連するデータ、情報】

### ◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 「主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律」に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための基礎資料
- ・ 集荷円滑化対策において、過剰米数量算出の必要性の判断及び過剰米数量算出のための基礎資料
- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の確認のための基礎資料
- ・ 農業災害補償法に基づく農作物共済事業において共済基準収穫量算定のための基礎資料
- ・ 水田・畑作経営所得安定対策（品目横断的経営安定対策）の推進のための資料

### ◎関連データ

#### 累年表

#### 水稻の年次別推移（全国）

年 産	作 付 面 積 (青刈り面積を含む)		10 a 当 たり 収	収 穫 量	作 況 指 数	10 a 当 たり 平 年 収 量
	ha	うち、子実用 ha				
昭. 54	2 482 000	2 468 000	482	11 898 000	103	466
55	2 374 000	2 350 000	412	9 692 000	87	471
56	2 281 000	2 251 000	453	10 204 000	96	474
57	2 261 000	2 230 000	458	10 212 000	96	477
58	2 270 000	2 246 000	459	10 308 000	96	478
59	2 300 000	2 290 000	517	11 832 000	108	479
60	2 326 000	2 318 000	501	11 613 000	104	481
61	2 292 000	2 280 000	508	11 592 000	105	484
62	2 148 000	2 123 000	498	10 571 000	102	487
63	2 109 000	2 087 000	474	9 888 000	97	490
平. 元	2 093 000	2 076 000	496	10 297 000	101	492
2	2 071 000	2 055 000	509	10 463 000	103	494
3	2 046 000	2 033 000	470	9 565 000	95	497
4	2 099 000	2 092 000	504	10 546 000	101	498
5	2 131 000	2 127 000	367	7 811 000	74	499
6	2 201 000	2 200 000	544	11 961 000	109	499
7	2 110 000	2 106 000	509	10 724 000	102	501
8	1 980 000	1 967 000	525	10 328 000	105	502
9	1 950 000	1 944 000	515	10 004 000	102	504
10	1 800 000	1 793 000	499	8 939 000	98	507
11	1 786 000	1 780 000	515	9 159 000	101	512
12	1 768 000	1 763 000	537	9 472 000	104	518
13	1 711 000	1 700 000	532	9 048 000	103	518
14	1 693 000	1 683 000	527	8 876 000	101	522
15	1 670 000	1 660 000	469	7 779 000	90	524
16	1 704 000	1 697 000	514	8 721 000	98	525
17	1 709 000	1 702 000	532	9 062 000	101	527
18	1 692 000	1 684 000	507	8 546 000	96	529
19	1 678 000	1 669 000	522	8 705 000	99	529
20	1 637 000	1 624 000	543	8 815 000	102	530

資料：農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』、『作物統計』

## 【調査結果】

1 平成21年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む）は163万7,000haで、前年産並みが見込まれる。

なお、水稻作付面積(青刈り面積を含む) から、生産調整カウントとなる米穀等（加工用米、新規需要米等）の面積を除いた主食用作付見込面積は、159万2,000haが見込まれる。

2 9月15日現在における水稻の地域別の作柄は、北海道では、全もみ数はやや多くなったものの、7月中・下旬の低温等の影響により不稔もみの発生が見られ、8月中旬以降も低温傾向で推移していることから、10a 当たり予想収量は489kg（作況指数91）が見込まれる。

東北では、7月中旬から8月上旬にかけて低温・日照不足に推移したものの、その後おおむね日照が確保されていることから、10a 当たり予想収量は556kg（同100）が見込まれる。

関東以西では、7月から8月上旬にかけての日照不足等の影響により、全もみ数がおおむね「やや少ない」ないし「平年並み」となったことから、北陸は10a 当たり予想収量528kg（同99）、関東・東山は530kg（同99）、東海は485kg（同96）、近畿は498kg（同98）、中国は509kg（同98）、四国は476kg（同98）、九州は498kg（同99）が見込まれる。

この結果、全国の10a 当たり予想収量は521kg（同98）が見込まれる。

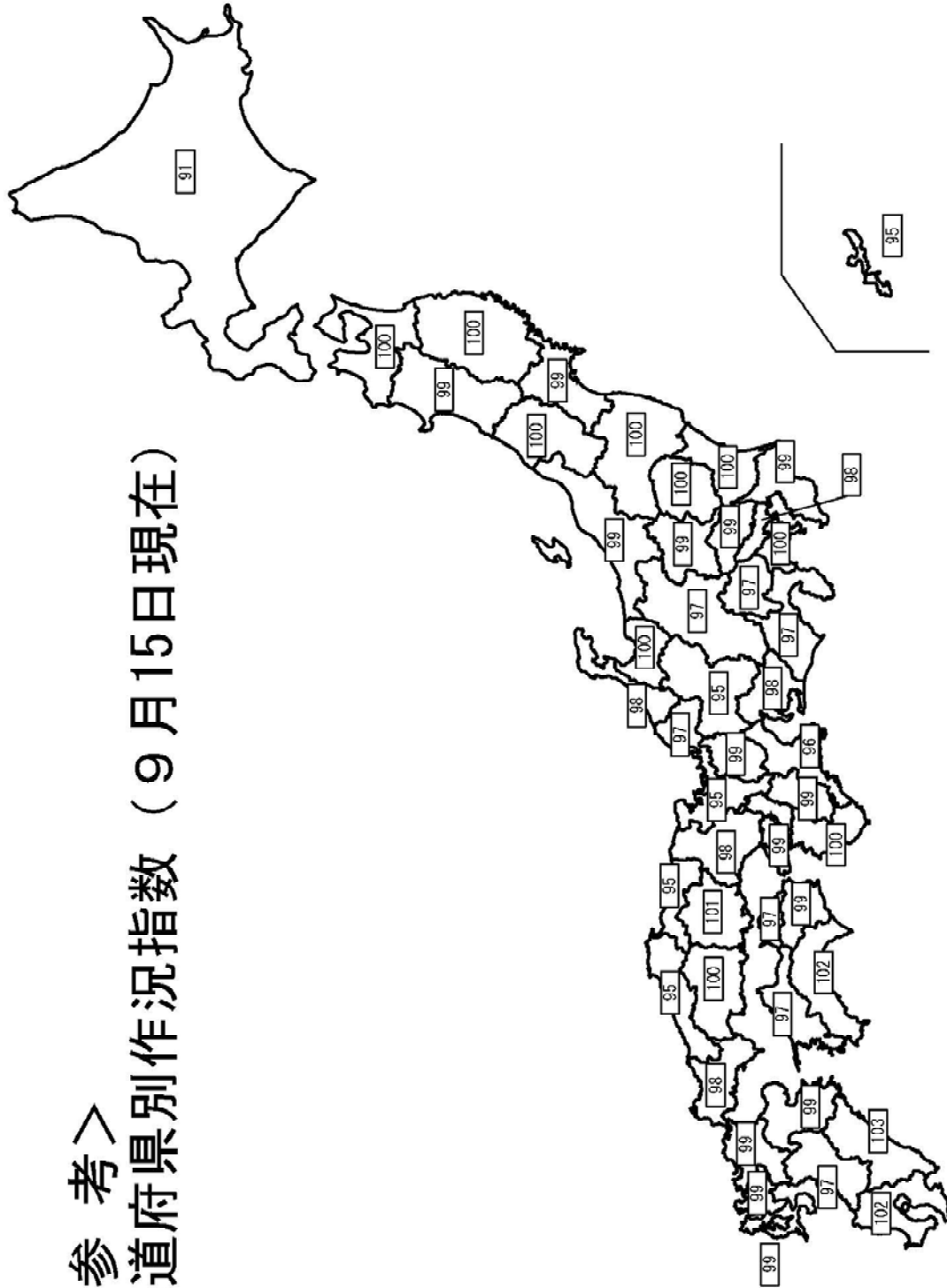
3 主食用作付見込面積に10a 当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用) は829万2,000tが見込まれる。

表 平成21年産水稻の作付面積及び9月15日現在の10a 当たり予想収量(作況指数)  
(全国農業地域別)

全国農業地域	作付面積 (青刈り面積を含む)			10a 当たり 予想収量 ①	参 考			
	前年産との比較		主食用作付 見込面積 ②		予想収穫量 (主食用) ③=①×②	10a 当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④	
	対 差	対 比						
	ha	ha	%	kg	ha	t	kg	
全 国	1 637 000	0	100	521	1 592 000	8 292 000	530	98
北 海 道	114 500	△ 100	100	489	112 500	550 100	535	91
東 北	421 100	1 700	100	556	406 000	2 255 000	557	100
北 陸	211 200	100	100	528	201 400	1 062 000	533	99
関東・東山	301 800	△ 300	100	530	295 700	1 567 000	534	99
東 海	105 300	△ 700	99	485	103 600	503 400	503	96
近 畿	110 800	△ 300	100	498	109 400	544 800	508	98
中 国	117 700	△ 100	100	509	116 200	591 700	517	98
四 国	58 200	△ 200	100	476	58 000	276 600	484	98
九 州	195 900	100	100	498	188 600	938 700	502	99
沖 縄	679	△ 8	99	351	...	...	370	95

注：1 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクroppサイレージ）、わら専用稲等を含む。  
2 沖縄は第一期稲である。  
3 主食用作付見込面積とは、水稻作付面積(青刈り面積を含む) から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。  
4 主食用作付見込面積及び予想収穫量（主食用）については都道府県ごとの積み上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

# 〈参考〉 都道府県別作況指数（9月15日現在）



注：1 徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県の作況指数は早期栽培、普通栽培を合算したものである。  
 2 沖縄県の作況指数は第一期稲である。

# 統 計 表

## 【目次】

ページ

- 1 平成21年産水稻の作付面積、10a当たり予想収量及び作柄概況(9月15日現在)  
・・・・・・・・・・ 6
- 2 平成21年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合(9月15日現在)・・・・・・・・・・ 8

## 【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数		7けた以上 (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1,000)	3けた以下 (100)
四捨五入するけた数 (下から)		3けた	2けた		1けた	四捨五入しない
例	四捨五入する前	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した数値	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中の「△」は、減少したものを示す。

1 平成21年産水稲の作付面積、10a

全 国 都道府県	作付面積 (青刈り面積を含む)	前年産との比較		10a当たり 予想収量 ①	(参) 主食用作付見込面積 ②
		対 差	対 比		
		ha	ha		
全 国 1	1 637 000	0	100	521	1 592 000
北 海 道 2	114 500	△ 100	100	489	112 500
青 森 3	49 300	△ 100	100	581	47 600
岩 手 4	56 900	△ 100	100	533	55 000
宮 城 5	74 500	1 100	101	527	72 100
秋 田 6	90 400	800	101	567	85 600
山 形 7	68 600	300	100	592	65 600
福 島 8	81 400	△ 300	100	538	80 200
茨 城 9	77 500	△ 400	99	522	75 800
栃 木 10	64 200	200	100	540	62 100
群 馬 11	18 400	△ 100	99	489	17 800
埼 玉 12	35 900	0	100	487	35 400
千 葉 13	62 300	0	100	527	61 600
東 京 14	186	△ 1	99	401	186
神 奈 川 15	3 220	△ 10	100	489	3 220
新 潟 16	118 400	300	100	534	111 200
富 山 17	39 600	△ 100	100	537	38 200
石 川 18	26 400	0	100	511	25 900
福 井 19	26 900	0	100	500	26 100
山 梨 20	5 330	10	100	529	5 290
長 野 21	34 700	0	100	606	34 200
岐 阜 22	25 100	0	100	462	24 700
静 岡 23	17 900	△ 300	98	505	17 600
愛 知 24	31 200	△ 200	99	499	30 800
三 重 25	31 100	△ 200	99	481	30 500
滋 賀 26	33 300	0	100	511	32 700
京 都 27	15 800	0	100	486	15 700
大 阪 28	5 840	△ 10	100	490	5 840
兵 庫 29	38 800	△ 100	100	492	38 200
奈 良 30	9 350	△ 160	98	508	9 310
和 歌 山 31	7 650	△ 80	99	491	7 650
鳥 取 32	14 300	100	101	490	14 000
島 根 33	19 500	0	100	484	19 200
岡 山 34	33 900	100	100	531	33 400
広 島 35	26 200	△ 200	99	522	25 900
山 口 36	23 800	△ 100	100	494	23 800
徳 島 37	13 800	△ 100	99	471	13 700
〔早期栽培 38	5 330	△ 20	100	458	…
〔普通栽培 39	8 440	△ 110	99	480	…
香 川 40	15 200	0	100	482	15 200
愛 媛 41	15 600	△ 100	99	484	15 600
高 知 42	13 600	0	100	469	13 500
〔早期栽培 43	8 030	0	100	491	…
〔普通栽培 44	5 550	△ 10	100	436	…
福 岡 45	39 900	△ 100	100	492	39 000
佐 賀 46	27 000	100	100	521	26 800
長 崎 47	14 100	△ 200	99	468	14 000
熊 本 48	42 100	200	100	499	39 200
大 分 49	25 400	200	101	496	24 800
宮 崎 50	22 400	100	100	508	20 200
〔早期栽培 51	9 330	△ 300	97	517	…
〔普通栽培 52	13 100	400	103	502	…
鹿 児 島 53	25 000	△ 200	99	490	24 600
〔早期栽培 54	6 080	△ 110	98	466	…
〔普通栽培 55	19 000	0	100	497	…
沖 縄 56	948	△ 62	94	…	939
〔第一期稲 57	679	△ 8	99	351	…
〔第二期稲 58	269	△ 55	83	…	…

注：1 青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。  
 2 沖縄県平均の10a当たり予想収量及び作況指数は第二期稲が出穂前であるため「…」で示しており、沖縄県計の予想収量（主食用）の算出には10a当たり平年収量を用いた。  
 3 主食用作付見込面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む）から、加工用米、新規需要米等の面積を除いた面積（見込み）である。

当たり予想収量及び作柄概況（9月15日現在）

考			穂数の多少	1穂当りの もみ数の 多	全もみ数 の多少	登熟の良否	全 国 都道府県
予想収穫量(主食用) ③=①×②	10a当たり 平年収量 ④	作況指数 ⑤=①/④					
t	kg						
8 292 000	530	98	…	…	…	…	1
550 100	535	91	やや少ない	多い	やや多い	不良	2
276 600	580	100	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	3
293 200	533	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	4
380 000	530	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	5
485 400	573	99	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	6
388 400	594	100	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	7
431 500	537	100	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	8
395 700	520	100	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや良	9
335 300	539	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	10
87 000	494	99	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	11
172 400	493	99	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	12
324 600	533	99	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	13
746	408	98	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	14
15 700	488	100	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	15
593 800	539	99	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	16
205 100	535	100	やや少ない	多い	やや多い	やや不良	17
132 300	519	98	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	18
130 500	517	97	平年並み	平年並み	やや少ない	やや不良	19
28 000	547	97	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	20
207 300	623	97	少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	21
114 100	488	95	少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	22
88 900	521	97	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	23
153 700	507	98	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	24
146 700	500	96	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	25
167 100	518	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	26
76 300	511	95	少ない	平年並み	少ない	平年並み	27
28 600	493	99	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	28
187 900	504	98	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	29
47 300	513	99	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	30
37 600	493	100	平年並み	やや少ない	やや少ない	やや良	31
68 600	514	95	少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	32
92 900	509	95	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや不良	33
177 400	526	101	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	34
135 200	523	100	やや少ない	平年並み	平年並み	平年並み	35
117 600	504	98	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	36
64 500	474	99	…	…	…	…	37
…	463	99	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	38
…	480	100	やや多い	平年並み	やや多い	やや不良	39
73 300	499	97	やや少ない	やや多い	やや少ない	やや不良	40
75 500	498	97	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	41
63 300	459	102	…	…	…	…	42
…	478	103	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	43
…	432	101	平年並み	やや少ない	平年並み	やや良	44
191 900	499	99	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	45
139 600	527	99	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	46
65 500	474	99	少ない	多い	やや少ない	平年並み	47
195 600	515	97	少ない	やや多い	少ない	やや良	48
123 000	503	99	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	49
102 600	493	103	…	…	…	…	50
…	475	109	やや多い	やや多い	多い	平年並み	51
…	507	99	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	52
120 500	479	102	…	…	…	…	53
…	439	106	やや少ない	やや多い	平年並み	良	54
…	492	101	少ない	やや多い	やや少ない	やや良	55
2 900	309	…	…	…	…	…	56
…	370	95	やや少ない	やや少ない	やや少ない	平年並み	57
…	…	…	…	…	…	…	58

4 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の早期・普通期別の主食用作付見込面積は、作期別に加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

5 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の県平均の「穂数の多少」以降の指標は、調査を早期・普通期別に行っており県平均を取りまとめているため、「…」で示している。

## 2 平成21年産水稻の出穂期及び刈取済面積割合（9月15日現在）

都道府県	出穂期							刈取済面積割合
	始期	最盛期		終期	最盛期の比較			
					対平年	対前年		
月 日	月 日	月 日				%		
北海道	7. 31	8. 5	8. 11	4日遅	3日遅	0		
青森	8. 8	8. 11	8. 16	4日遅	3日遅	0		
岩手	8. 4	8. 7	8. 15	1日早	1日早	0		
宮城	8. 3	8. 6	8. 14	1日早	2日早	0		
秋田	8. 3	8. 7	8. 12	2日遅	2日遅	0		
山形	8. 4	8. 8	8. 15	並み	1日早	0		
福島	8. 4	8. 13	8. 19	並み	並み	0		
茨城	7. 24	8. 2	8. 13	2日早	3日早	55		
栃木	7. 29	8. 5	8. 20	1日早	並み	14		
群馬	8. 10	8. 23	8. 30	2日遅	2日早	1		
埼玉	7. 27	8. 13	8. 29	1日遅	並み	30		
千葉	7. 16	7. 28	8. 7	1日早	2日早	97		
東京	8. 13	8. 16	8. 29	1日早	1日遅	0		
神奈川	8. 4	8. 13	8. 22	1日遅	1日遅	2		
新潟	7. 31	8. 9	8. 16	並み	並み	16		
富山	7. 25	8. 7	8. 13	1日遅	4日遅	27		
石川	7. 24	8. 4	8. 14	1日遅	3日遅	58		
福井	7. 24	8. 2	8. 14	2日遅	5日遅	81		
山梨	8. 6	8. 14	8. 24	2日遅	1日遅	3		
長野	8. 3	8. 11	8. 18	2日遅	3日遅	3		
岐阜	7. 23	8. 20	9. 3	1日遅	1日遅	28		
静岡	7. 24	8. 14	9. 1	1日遅	2日遅	37		
愛知	7. 25	8. 18	9. 1	1日遅	2日遅	30		
三重	7. 16	7. 24	8. 7	並み	1日遅	90		
滋賀	7. 27	8. 2	8. 17	並み	1日早	48		
京都	7. 27	8. 8	8. 24	並み	1日遅	34		
大阪	8. 1	8. 23	9. 1	1日遅	2日遅	7		
兵庫	7. 30	8. 12	8. 29	1日早	並み	35		
奈良	7. 31	8. 23	8. 30	並み	1日遅	13		
和歌山	7. 17	8. 8	8. 23	並み	1日遅	41		
鳥取	7. 28	8. 11	8. 22	4日遅	5日遅	21		
島根	7. 22	8. 7	8. 22	4日遅	5日遅	41		
岡山	7. 25	8. 20	9. 4	1日遅	3日遅	21		
広島	7. 25	8. 10	8. 25	3日遅	5日遅	33		
山口	8. 2	8. 14	8. 28	3日遅	6日遅	34		
徳島	7. 8	7. 14	7. 24	1日早	2日早	100		
香川	7. 16	8. 1	8. 27	2日早	1日早	62		
香川	7. 22	8. 22	9. 3	並み	2日遅	31		
愛媛	7. 14	8. 13	9. 2	並み	2日遅	41		
高知	6. 27	7. 5	7. 15	並み	1日早	100		
高知	8. 15	8. 21	9. 2	2日遅	3日遅	3		
福岡	8. 3	8. 26	9. 5	3日遅	3日遅	16		
佐賀	7. 22	8. 26	9. 10	1日遅	並み	9		
長崎	7. 19	8. 26	9. 7	2日遅	並み	16		
熊本	7. 10	8. 21	9. 4	並み	1日遅	8		
大分	8. 1	8. 25	9. 1	2日遅	1日遅	4		
宮崎	6. 18	6. 22	6. 27	4日早	7日早	100		
宮崎	8. 18	8. 25	9. 4	1日遅	1日遅	0		
鹿児島	6. 20	6. 26	7. 4	1日早	3日早	100		
鹿児島	8. 20	8. 26	9. 5	並み	1日遅	0		
沖縄（第一期稲）	5. 1	5. 15	5. 31	8日早	6日早	100		

注：出穂期の始期とは出穂済面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。

## 【調査の概要】

### 1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の作付面積、生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、経営安定対策、技術指導等の農林水産行政推進のための資料とすることを目的としている。

### 2 調査の対象

調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

なお、全国農業地域の区分は、次のとおりである。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

### 3 調査対象数

#### (1) 作付面積調査

標本単位区：32,180単位区 巡回・見積り：1,778市町村

#### (2) 作柄概況調査

作況標本筆：10,285筆 作況基準筆：619筆 巡回・見積り：1,778市町村

### 4 調査事項

水稲の作付面積、は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況、耕種状況。

### 5 調査期間

(1) 作付面積調査：7月15日現在

(2) 作柄概況調査：9月15日現在

### 6 調査方法

#### (1) 作付面積調査

調査は、標本単位区に対する職員及び統計調査員による実測調査並びに職員による巡回・見積りにより行った。

#### (2) 作柄概況調査

調査は、作況標本筆、作況基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

## 7 集計方法

### (1) 作付面積調査

対地標本実測調査結果及び巡回・見積り結果により取りまとめている。

### (2) 作柄概況調査

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

## 8 用語の解説

### (1) 「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られるもので、飼肥料用などとして用いられるものである。

なお、青刈りには、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ）、わら専用稲等を含む。

### (2) 「穂数の多少」とは、1 m<sup>2</sup>当たりに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

### (3) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

### (4) 「全もみ数の多少」とは、1 m<sup>2</sup>当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。

### (5) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。

### (6) 上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1 m<sup>2</sup>当たり穂数等）の平年値との比較である。

多 少 (良 否)	少ない (不良)	やや少ない (やや不良)	平年並み	やや多い (やや良)	多 い (良)
対平年比	94%以下	95～98%	99～101%	102～105%	106%以上

### (7) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。

### (8) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合や作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

## 9 利用上の注意

本調査(9月15日現在)は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

### 【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

- 米に関する累年データは、農林水産省ホームページ中の農林水産統計情報総合データベースに掲載しています。【 <http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei> 】

### 【関連リンク】

米関係ページ：農林水産省>食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>  
農林水産省>生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

米政策改革情報ページ：<http://www.maff.go.jp/j/soushoku/jyukyu/komeseisaku/>

全国米穀取引・価格形成センター：<http://www.komekakakucenter.jp/>



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施します。

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。



### 問い合わせ先

#### ◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房 統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：03 (3502) 5687

面積統計班

電話：03 (6744) 2045

#### ◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部

統計企画課 広報普及班

電話：03 (6744) 2037

## 21年産米の作柄(9月15日現在)を踏まえた国産米の需給見通し

(単位:万トン)

	9月15日現在作況 を踏まえた需給見通し	(参考) 基本指針策定時 (21年7月)
21年6月末在庫 A	298	298
21年産主食用米等生産量 B	829	815
21/22年主食用米等供給量計 C=A+B	1,127	1,113
21/22年主食用米等需要量 D	821	821
22年6月末在庫量 E=C-D	306	292

注1:当該需給見通しは、国産米の需給見通しであり輸入米(MA米)を含まない。

注2:21/22年は、21年7月から22年6月までの1年間である。